

# 英語科学習指導案

令和元年 9 月 20 日 金曜日

第 5 校時 3 年 B 組 40 名

指導者 古中 茜

**1 単元名** ラグビーワールドカップで来県する国についての紹介原稿を作成しよう。

LESSON5 Places to Go, Things to Do (NEW CROWN ENGLISH SERIES 3)

## 2 単元設定の理由

### 〈単元について〉

本単元では、関係代名詞 **that which who** (主格・目的格) を用いて、中学生が行ってみたい場所や好きなことについてそれぞれ発表することを学習する。この単元において付けたい力は学習指導要領 書くこと一エ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにすることである。そのうち、ケンのスピーチでは、ブラジルに行きたい理由を、国の特徴を交えて 5 段落で構成したまとまりのある文章が紹介されており、また、教科書教材は、モンゴル、アメリカ (ハリウッド)、ケニア、ブラジルといった国が取り上げられ、写真を添えながら、それぞれの国の魅力について語られている。自分の行きたい国について論理的に話をする方法を学ぶことができるよう構成されている。また、関係代名詞を用いることで、文の中により詳しい内容を加えることができることを学習する。そこで、本単元ではラグビーワールドカップで来県する国について紹介する原稿を作成する活動を通して文と文とのつながりや順序、構成を工夫してまとまりのある文を書く力を身につけさせたい。

### 〈学習者について〉

学習者は、1 年次より表現活動を中心とした英語学習に取り組んできた。班やペアで活動することに対しても積極的な姿を見せた。また英文を書くことに対しても間違いを恐れず取り組むことができた。2 年次には、オーストラリアについて学習したのち、集めた情報をもとにエッセイを書いたが、分量や内容も個人差が出ており、正確性に欠けることが増えてきた。英語の習熟度に差が開いており、語順や語彙など基礎的な文法理解でつまづいている学習者もいる。

### 〈指導・「問い」の工夫について〉

本単元は大分で 10 月に行われるラグビーワールドカップで来日する外国人に配付するプロシユアの作成を言語活動として設定した。大分県で試合をする 6 か国についてのプロシユアを作成することで、教科書教材で学んだ文章構成や文法事項を活用する場を設ける。さらに旅行会社に評価してもらい、優秀作品を店頭にも置かせてもらうことで、より洗練された英文を書こうとする意欲を持たせたい。各国を班で分担して情報を集め、まず個人で原稿を書き、それをもとに班員全員で検討させる。その際、文章構成や文法の正確性に留意させる。また、教科書の **Get** や **Read** 内の表現を振り返らせ、紹介原稿を改善する方法を考えさせる。「書くこと」に課題のある学習者には、活動中の気付きや疑問を振り返る機会を与えたり、ヒントカードを使わせたりすることで、自信を持って取り組めるようにする。班内で文の構成や文法などの確認の役割を分担し、対話を通して教え合いや学び合いを行うことを通して、文章構成と文法が整った文章を書く力の向上へとつなげていきたい。

また、学習者の主体的な取組を促すために、教科書の題材と関連する帯活動の **Warming Up** から授業を展開していく。

## 3 単元の目標

(1) 文と文とのつながりや、順序・構成を工夫してまとまりのある説明文を書くことができる。

【外国語表現の能力】

(2) 文章構成やつながりを意識した文を積極的に用いて原稿を作成しようとしている。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(3) 関係代名詞に関する知識を身に付けている。

【言語や文化についての知識・理解】

#### 4 単元の評価規準

ア	イ	ウ	エ
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
文章構成やつながりを意識した文を積極的に用いて原稿を作成しようとしている。	発表する国の情報や、話題に関して聞いたり読んだりしたことについて整理し、順序、構成を工夫してまとまりのある文を書くことができる。	/	関係代名詞 <b>that which who</b> の主格と目的格の用法について理解している。

#### 5 単元計画 総時間 (11/13) 時間

時間	学習活動	単元の評価規準	評価方法
1 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>行きたい場所とそこでしたいことの説明文を読み、モンゴルの紹介ブロシュアを作成する。</li> <li>文章構成やつながりを意識した文章を書く練習をする。</li> <li>関係代名詞 <b>that</b> (主格) を理解する。</li> </ul>	エ	後日ペーパーテスト ワークシート
3 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>行きたい場所とそこでしたいことの説明文を読み、ハリウッドの紹介ブロシュアを作成する。</li> <li>文章構成やつながりを意識した文章を書く練習をする。</li> <li>関係代名詞 <b>who, which</b> (主格) を理解する。</li> </ul>	エ	後日ペーパーテスト ワークシート
5 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>行きたい場所とそこでしたいことの説明文を読み、ケニアの紹介ブロシュアを作成する。</li> <li>文章構成やつながりを意識した文章を書く練習をする。</li> <li>関係代名詞 <b>that, which</b> (目的格) を理解する。</li> </ul>	エ	後日ペーパーテスト ワークシート
7 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>行きたい場所とそこでしたいことの説明文を読み、ブラジルの紹介ブロシュアを作成する。</li> <li>スピーチの構成について理解し、概要を説明する。</li> <li>文章構成やつながりを意識した文章を書く練習をする。</li> </ul>	エ	後日ペーパーテスト ワークシート
9	前時までの表現活動を発展させ、ラグビーワールドカップ大分開催で来県する国についての紹介原稿作成の準備をする。		ワークシート
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>準備した内容をもとに、班員で内容を分担し紹介原稿を作成する。</li> <li>これまでの学習を振り返り、原稿を見直す視点を考える。</li> </ul>	ア	ワークシート
11 (本時)	作成した紹介原稿を班員で見せ合い、意見交流をし、原稿を改善することができる。(本時)	イ ア	ワークシート (原稿下書き)
12	紹介原稿を読み合い、紹介ブロシュアを完成させる。	イ	ブロシュア
13	完成したブロシュアを皆で見せ合う。		ワークシート

※ブロシュア (brochure) パンフレット (pamphlet・英より普通で旅行案内などの営業用を指す)、(ジーニアス英和辞典より引用)

※共通教材 LESSON5 Places to Go, Things to Do (NEW CROWN ENGLISH SERIES 3)

## 6 単元構想図

	めあて・課題	「問い」の工夫	振り返り
1 2 3 4 5 6 7 8	<p>めあて ・行きたい場所とそこでしたいことの説明文を読み、4つの国についての紹介プロシユアを作成する。</p> <p>・各文章構成や文同士のつながりやまとまりを意識して英文を書くことができる。</p> <p>・関係代名詞 <b>that, which, who</b> の主格・目的格の用法を理解する。</p>	<p>・関係代名詞 <b>that, which, who</b> の主格・目的格の用法を理解し、使用する活動を通してより複雑な文章が書けるようになる。</p> <p><b>「問い」の工夫Ⅰ</b> 多くの人に互いの情報が詳しく伝わるように、文章構成やつながりを意識したワールドカップで大分に来県する国の紹介プロシユアを作成させる。</p>	<p>・関係代名詞の用法を使って英文を書くことができた。</p> <p>・文章を書くときは構成を考えながら書くことでまとまりのある文を書くことができた。</p> <p>・関係代名詞を用いることでより複雑な文章が書け、詳しい内容を伝えることができるようになることが分かった</p>
9 10 11 12	<p>めあて ・ラグビーワールドカップで来県する国についての紹介原稿を作成する。</p>	<p>・文同士のつながりや順序、各文の構成を工夫してまとまりのある説明文を書くことができる。</p> <p><b>「問い」の工夫Ⅱ</b> まとまりのある英文になるように、「これまで学んできた構成や順序を視点として」、学習者同士で意見を出し合い、英文を再構成させる。</p>	<p>評価</p> <p>①文同士のつながり、代名詞や関係代名詞を適切に使えたか。</p> <p>②順序を意識しているか。</p> <p>③各文の構成に工夫があるか。</p> <p>3つの点に着目し正確性がありまとまりのある説明文を書くことができた。</p>
13	<p>めあて ・完成したプロシユアを皆で見せ合う。</p>	<p>・文同士のつながり、順序や各文の構成を工夫した点について、班で仕上げたプロシユアを互いに見せ合い、評価をする。</p>	<p>評価</p> <p>①文同士のつながり、代名詞や関係代名詞を適切に使えたか。</p> <p>②順序を意識しているか。</p> <p>③各文の構成に工夫があるか。</p> <p>の点について班ごとに作成した作品を評価する。</p>

## 7 本時の指導

- (1) 題材「各文の構成や文同士のつながりやまとまりを意識して、紹介原稿を改善することができる。」
- (2) ねらい 紹介したい国について、文と文とのつながりや順序、構成を工夫する点を互いに見せ合うことを通して、まとまりのある説明文を書くことができる。
- (3) 本時における「問い」の工夫  
自分たちの紹介原稿をより良いものにするためには、何を視点に互いの英文を見直すべきかを考えさせ、文同士のつながりや順序、各文の構成に目を向けさせることで、よりまとまりのある説明文を書くことができるようにさせる。
- (4) 展開

学習活動	時	指導	期待される学習者の反応	備考・評価
1 あいさつ	1	○大きな声であいさつをさせる。	○前向きな姿勢で活動に取り組むことができる。	パワーポイント
2 Warming Up	10	○前時までの振り返りを行う。		紹介原稿 辞書

めあて 文の構成やつながりを意識して、紹介原稿を改善し、完成させよう。

<p>3 スピーチ原稿を 班員で見せ合う</p> <p>1回目 視点なし</p> <p>モデルを提示する</p> <p>2回目 視点あり</p>	<p>2 0</p>	<p>○作成した紹介原稿を班で見合わせる。</p> <p>(「問い」の工夫)</p> <p>まとまりのある英文になるように、これまで学んできた構成や順序を視点として、学習者同士で意見を出し合い、英文を再構成させる。</p> <p>○他の生徒が作った文章を見直す前、後で変化したものを見せる。</p> <p>○必ず色ペンを用いて訂正や修正をさせ、学習の軌跡を残すように確認させる。</p> <p>○「書くこと」に課題を持つ学習者に配慮し班活動に取り組みせ、役割分担をし、全員で意見を交流することを確認させる。</p>	<p>○紹介原稿を見直す。 (文章構成での原則)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文と文のつながり (代名詞や関係代名詞を適切に使えたか?)</li> <li>・構成 (つなぎ言葉)</li> <li>・語順・語句に誤りはないか、これまで学んだことを再度確認し、英文を見直すことができる。</li> </ul> <p>※必要であればヒントカードを用いる。</p> <p>○互いにアドバイスしたのち原稿を完成させることで、まとまりのある説明文を書くことができる。</p>	<p>パワーポイント</p> <p>チェックシート</p> <p>ヒントカード</p> <p>振り返りシート</p>
<p>4 紹介原稿を完成 する</p>	<p>1 4</p>	<p>○班で交流をし、話し合った内容をもとに個人で原稿を完成させる。 ペアで教えあう。</p>		
<p>5 振り返り</p>	<p>5</p>	<p>○最初の原稿と班員で交流した後の原稿を比較し、改善できた点や学んだ点について振り返りをさせる。</p>		

振り返り 班員との交流の中で自分の紹介原稿がどのように改善したか振り返る。

(予想される振り返り) ①文と文のつながり、代名詞や関係代名詞を適切に使えたか。 ②順序を意識しているか。 ③構成に工夫があるか。 ④ 正確に書くことができたか の点を意識し紹介原稿を書くことができた。

(5) 板書計画

めあて 各文の構成や文同士のつながりやまとまりを意識して、紹介原稿を改善し、完成させよう。

何を視点を英文を見直していくと良いだろうか?

- ・文と文のつながり (名詞の後に説明文が来るとより分かりやすい文が書ける)
- ・関係代名詞 ・文の順序 (初め→具体例→終わり) ・構成 (First, Second など)

振り返り 班員とのチェックを行った後、自分の紹介原稿がどのように改善されたか振り返ろう

(予想される振り返り) ①文と文のつながり、代名詞や関係代名詞を意識してチェックができたかや、名詞の後に説明文が来るとより詳しい文が書けることが理解できたか。 ②順序を意識しているか。 ③構成に工夫があるか、④正確に書くことができたか の点を意識し紹介原稿を書くことができた。

Today's Menu

- Greeting
- Warming Up
- Check your brochure with your group members
- Rewrite your brochure with your partner
- Feedback

## 単元構想メモ

「ラグビーワールドカップで来県するチームについての紹介原稿を作成しよう」

### ①単元の目標は何か（資質・能力）

班活動やペア活動を積極的に取り入れ意見交換を行い、紹介したい国について、文と文とのつながりや順序、構成を工夫したり改善したりすることを通して、まとまりのある説明文を書くことができる。

学習指導要領書くこと一エ 社会的な話題に関して聞いたりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

### ④問題意識を持たせるために、どのような導入を図るか（③を届けるために）

共通教材「Places to go, Things to do」の内容から、様々な国についての紹介や良さ、その土地にあった出来事などを関係代名詞を使った文を用いて紹介する活動を行う。関係代名詞を用いることで一文の中により多くの情報を付け加えることができることを理解させる。また長文を読み、段落構成やつなぎ言葉などの文章を書く時の方法を学び、論理的に文章を書くためにはどのように書くべきかを考えさせる。

### ③どのようなめあて、課題にするか。

（各教科の見方・考え方が働くもの）

文の構成やつながりを意識して、紹介原稿を見直し改善することができる。

#### 「問い」の工夫Ⅰ

多くの人に互いの情報が詳しく伝わるように、文章構成やつながりを意識したワールドカップで大分に来県する国の紹介プロシユアを作成させる。

### ⑥使える資料は何か。どこで使うか。

共通教材

「Places to go, Things to do.」  
（教科書）

- ・図書館の本
- ・インターネット上の情報
- ・旅行会社のパンフレット

### ⑤どんな追及活動を行わせるか（言語活動含む）

ラグビーワールドカップ大分ですでに来県が決定している6か国について班でそれぞれ情報を集めさせる。その際 Get や Read での表現活動を活かし、代名詞や関係代名詞、文と文のつながりや語順、文章構成にこだわり、作成していくことが大切であるということに気付かせ、紹介原稿を作成させる。そして個人で作成した原稿をペア、班で互いに見合う。

#### 「問い」の工夫Ⅱ

まとまりのある英文になるように、これまで学んできた構成や順序を視点として、学習者同士で意見を出し合い、英文を再構成させる。

### ②単元の最後に理解させたいこと、発言させたいことは何か

（単元のゴール+振り返りの視点）

学習者が出した考えをもとに作成したチェックリストを用いて、文法や英文について互いにアドバイスしたのち原稿を完成させ、まとまりのある説明文を書くためには文章の構成やつながりを意識することが大切であることを理解させたい。

【予想される振り返り】①文と文のつながり、代名詞や関係代名詞を意識してチェックができたかや、名詞の後に説明文が来るとより詳しい文が書けることが理解できたか、②語順を意識しているか、③文章構成に工夫があるか、④正確に書くことができたか の点を意識し紹介原稿を書くことができた。

### ⑦まとめの表現活動をどうするか

- ・第三者（旅行会社の方）に見てもらい、内容の正確性や情報量などで高く評価されたものを掲示していただく。